



虹の森通信

本来の森を取り戻すために！子どもの環境教育、植樹、生物多様性の保護...

2013年4月21日/第3号

活動趣旨：

NPO 法人子どもがかける虹の森ネットワークは、国、人種、政党、宗教を超えて、地球上のすべての生き物が調和して生きられる自然豊かな地球の再生に貢献し、20年後の地球に住む子どもたちが再び自然と共生しながら、心身共に健康で豊かに暮らせる自然循環型社会を実現することを目指しています。

はじめに

新緑が目にもまばゆく、鶯のさえずりが耳に心地よい美しい季節になりましたが、皆様お元気ですか。おかげさまで虹の森の活動も少しずつ軌道に乗り始め、インド、ペルー、日本で準備が着々と進んでいます。今回は2012年度後半の活動のご報告をさせていただきます。

インド：

タミルナドゥ農業大学の指導により、タミルナドゥ州の小学校でのカーボン・ニュートラル・スクールのプロジェクトがいよいよ始まります。小学校で排出されるCO₂の量をできるだけ抑え、植樹によってCO₂を吸収することで、CO₂の排出のゼロを目指します。

ペルー：

クスコのNGOエコアンと協力して、インカの伝統的な織物を100%自然素材で作っている女性グループの活動と織物を日本に紹介するプロジェクトが進んでいます。この女性たちは、東日本大震災後、釜石の子供たちに応援メッセージを送ってくれた小学生のお母さんたちです。農薬も化学肥料も使われていない牧草地で育ったアルパカや羊の毛を手で紡ぎ、地元の植物から作った染料で糸を染め、インカに伝わるデザインを取り入れて手織りで織っています。テーブルクロスや肩掛けなどは、手触りがよく、とてもきれいな配色です。(右上写真)。事務局にサンプルがありますので、ご興味のある方はご連絡ください。



自然素材100%のインカの織物を再現するペルーの女性たち

釜石の近況報告：

釜石市教育委員会総務学事課元総務係の山田裕子さん(現在釜石市議会事務局次長兼総務係長)から3月に心に響くメールが届きましたので、一部ご紹介します。山田さんは、皆さんからのご寄付や海外の子供たちのメッセージを釜石市の小学校に送る架け橋をしてくださった方です。

「震災から2年を経て、復興の兆しはまだまだ見えませんが子どもたちは以前より落ち着いてきました。むしろ、大人たちの方が、先々の不安で一層悩みが増えているようです。子どもたちは、やはり順応性が高いです。大人の不安や悩みが子どもたちに伝わるの方が心配です。世界でいろいろな事件が起き、日本のどこかで災害が発生している中で私たち東日本大震災の被災地を忘れずにいていただくことが一番うれしいのです。心の片隅にとめていただき、忘れないでほしいのです。大きな地震が起きて、何十メートルの津波が押し寄せてそれでも、子どもたちは必死で逃げて、生き延びたということを覚えていてほしいのです。」

これからも、NPO法人としてできる限りのことをさせていただきますようお願いいたします。

鎌倉の谷戸見学:

2月に、横浜市民活動センターの企画で、横浜のNPOの代表者が集まり、鎌倉で里山保全に尽力されているNPO法人山崎・谷戸の会の見学及び農作業体験をさせていただきました。開発のために壊されていく谷戸を市民の力で保全し、昔の谷戸の姿に戻していく活動をされています。山の木の伐採、無農薬・有機肥料での米や野菜作り、そこでとれた食材を使ったお料理の試食会など、自然の中で子供と大人たちが楽しそうに活動していました。谷戸が、自然に戻そうとされている人間をあたたく受け入れて、そこで作業されている方たちも一人一人に居場所があり、居ごちがよい空間です。そして、その谷戸と大人に見守られて、安心してそこらじゅうを裸足で走り回るぴちぴちとした子供たちの姿に、未来への希望が見えました。今後、会員の皆様にもご参加いただける企画をしますので、楽しみにしててください。



谷戸でジャガイモの植え付けを手伝う女の子

ボランティアの募集:

- 自然栽培関係の書籍の英訳をお手伝いして下さる方を募集しています。
 - ウェブサイトの立ち上げのお手伝いをしてくださる方を探しています。
- 神森(090-9141-4825)までご連絡ください。

自然栽培の書籍のご紹介:

- 「ほんとの野菜は緑が薄い」河名秀郎著 日本経済新聞社出版 2010年
- 「野菜の裏側」河名秀郎著 東洋経済新報社 2010年
無農薬、無肥料でお米や野菜を作れることをご存知でしたか。ナチュラル・ハーモニーの代表、河名秀郎さんが野菜の腐敗実験の写真を取り入れて、とても分かりやすく本当の野菜について教えてください。えっ、自然栽培と有機栽培ってこんなに違うの、と驚かれることでしょう。
- 「未来の食卓を変える 7人」桜鱒太郎 しよしかんかんぼう 書肆侃侃房 2012年

おいしくて安全な食べ物作りに取り組む7人の農家を写真入りで紹介しています。奈良で有機栽培による伝統野菜の復活に成功した夫婦、北海道で放牧され自然の草だけを食べて育つ牛たちの、個性に合わせて搾った生乳を提供する「想いやりファーム」、無農薬栽培で野菜、果物、ハーブを育てレストランも経営する農家などとても素敵な人たちがいます。今日から食卓を変えてみませんか？

新会員のお知らせ:

辻典子様(東京)、榎原昌子様(東京)、飯吉潤子様(横浜)、澤井義男様(東京)が入会してくださりました。ありがとうございます。自然を愛する心優しい方々です。

書き損じはがきの寄付のお願い:

静岡の青木昭子さんが書き損じ年賀状10枚を寄付してくださいました。ありがとうございます。通信費として使わせていただきます。引き出しの中で眠っている書き損じのはがきなどがありましたら、ご寄付をお願いします。

おわりに

少しずつ活動が進展してまいりましたのも、皆さまのご支援のおかげです。心より感謝しております。今後も、釜石の子供たちの継続的な支援、ペルー、インドのプロジェクトを続けてまいりますので、引き続きご支援をお願いします。

NPO 法人 子どもがかける虹の森ネットワーク Children's Rainbow Forest Network (CRFN)

住所: 〒231-0063 横浜市中区花咲町一丁目 42 番地 1 アイマークス横浜桜木町308

TEL: 090-9141-4825 FAX: (045) 592-1782

E-Mail: CRFN.JP@gmail.com

編集人: 神森瑛実花

